

1 「外国語科」における「話すこと（発表）」の目標

身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

2 単元名 Unit6 Let's think about our food. (NEW HORIZON Elementary 東京書籍)

3 単元の目標と評価規準

(1) 目標

世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I ate～. I usually eat～. ～is from・・・～is in the・・・group. およびその関連語句などについて理解している。</li> <li>・ 食材を通じた世界とのつながりや食べ物の栄養素について、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</li> </ul>	食材を通じた世界とのつながりや食べ物の栄養素などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	食材を通じた世界とのつながりや食べ物の栄養素などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

4 指導と評価の計画

(1) 指導上の留意点

本単元は、食材を通じて日本と世界のつながりを考えることをテーマにしている。言語材料としては、食材や国の名前に関する語彙と、食べ物の生産地や栄養素を紹介する表現を扱っている。社会科の食料自給率や家庭科の三大栄養素の学習と関連付けた活動を展開できる教材である。本単元のゴールを、フィリピン出身のALTに向けて、日本とフィリピンの食材を利用した「オリジナルカレー」の紹介スピーチを行うことに設定し、目的意識をもたせて必要な表現を習得させていきたい。また、スピーチの練習時には自分の話す様子を撮影して客観的に振り返ることで、自分の目標を達成しているか、よりよい発表にするにはどうしたらよいのか考えさせていきたい。

(2) 単元のまとめを見通した計画

○指導に生かす評価

◎記録に残す評価

時間	ねらい (■)、言語活動等 (丸数字)、評価の方法 (※)	知	思	態
1	■オリジナルカレーを紹介するという単元のゴールを理解する。 ①好きな食べ物についてペアで伝え合う。 ②登場人物がいつ何を食べたかを聞きとり内容を整理する。 ※観察、ワークシート			
2	■食べたものや、食べ物の産地を表す表現を理解する。 ①朝食にふだん食べているものをペアで伝え合う。 ②食べ物の生産地を紹介する表現を確認し、ペアで伝え合う。 ※観察、ワークシート			
3	■食べ物の栄養グループを紹介する表現を理解する。 ①昨夜食べたものをペアで伝え合う。 ②食べ物の絵カードを用いて、グループで分類ゲームをする。 ※観察、ワークシート			

4	<p>■オリジナルメニューに入れる食材を考える。</p> <p>①カード交換活動をし、食べ物の生産地・値段を伝え合う。</p> <p>②学習者用端末で情報を検索し、パワーポイントにまとめる。</p> <p>※観察、ワークシート</p>	◎		
5	<p>■オリジナルメニューのよさを相手に伝えるために、必要な情報を整理しまとめる。</p> <p>①今までに習った表現をもとにスピーチ原稿を作る。</p> <p>②スピーチの練習をし、1回目の動画を撮る。</p> <p>※観察、ワークシート、動画</p>		◎	◎
6 本 時	<p>■オリジナルメニューを紹介する。自分の話す様子を動画に撮り客観的に振り返ることで、自分のスピーチを修正する。</p> <p>①前時に撮影した動画を見る。</p> <p>②自分のスピーチの改善点を出し、原稿や話し方の修正を行う。必要に応じて友達動画を見て参考にする。</p> <p>③練習後、2回目の動画を撮影する。</p> <p>④自己のねらいを達成しているか振り返る。</p> <p>※観察、ワークシート、動画</p>		◎	◎
7	<p>■グループの代表者を決め、プレゼン大会をする。</p> <p>①食べ物をテーマに、ペアで話す。</p> <p>②代表児童の発表を聞き、質問したり感想を言ったりする。</p> <p>※観察、発表</p>			
8	<p>■世界の食べ物に関する問題を知る。</p> <p>①食べ物をテーマに、ペアで話す。</p> <p>②自分が知っていることや、新たに分かったことを交流する。</p> <p>※観察、発表</p>			
後日	ペーパーテスト	○	○	○